

問われる道徳教育の在り方 本市の取り組みどう展開

議員 いじめ、不登校、虐待、自殺等のニュースが毎日のように報道されているが、これらの原因の一つは戦後六〇年の道徳教育にあると思う。本市の学校教育の面での道

徳教育はどのように推進しているのか。
教育長 指導室が毎年、各小中学校への計画訪問を実施して道徳の授業研究を行い、教員の指導力向上を図っている。平成



校庭で仲良く遊ぶ子供たち

市内小・中学校 17年度から2学期制に全面移行 効果と課題尋ねる

議員 学校週五日制の実施に伴い減少した授業時間の確保を主目的として、本市のすべての小中学校が十七年度から二学期制に移行したが、その効果について聞きたい。
学校教育部長 始業式や終業式の回数の減少、学校行事の実施時期の工夫などにより授業時間が増加したことが挙げられる。また学期が長期化したことで長期間での単元学習が可能となり、これ

まで以上に体験的、問題解決的学習の実施や個に応じた指導の充実が図られ、多面的な教育を実践する機会が増えた。さらに、新学期開始直後の五月に集団活動を意識した運動会を実施するなど、子供たちの実態に即した柔軟な行事設定等も可能となった。
議員 二学期制の実施に伴ってどのような課題が生じたのか伺いたい。
学校教育部長 学校教育

に関する講座の実施を計画している。道徳教育をさらに推進するため、新たな実践にも積極的に取り組みながら、道徳教育、道徳学習を展開していきたい。
いじめの防止 早期発見が重要
議員 いじめ問題の解決には、地域、家庭、学校の三者が共通認識を持ち、正面から取り組むことが必要だと考える。本市のいじめの実態を聞きたい。
教育長 本市の小中学校における十七年度のいじめの発生件数は六二件で、そのうち六〇件は解決している。いじめの予防、発見、解決には学校における教員と子供、そして家庭内での子供とのコミュニケーションが不可欠であると認識している。
議員 いじめを防止するための取り組みについて伺いたい。
教育長 早期発見が重要だと考えている。教員が日ごろから児童・生徒の生活態度や身体的な状況の異変、行動面等をきめ細かく観察し、子供の発する小さなサインを見逃さないよう教員間で連携を取りながら情報を収集し、迅速、適切に対応することに努めている。

学校給食業務の運営 当面は直営方式を継続

議員 本市では、「平塚市集中改革プラン」に基づき、定員管理の適正化、民間委託等の推進など六項目の行政改革に取り組んでいる。学校給食業務を直営体制で行う場合と、

民間に委託する場合の経費について伺いたい。
教育総務部長 人件費の削減効果を中心に、一括して委託する場合と段階的に委託する場合の検証

を行った。一括委託の場合、二十年度から二十五年度までの間は委託に一億四千万のメリットがあるが、二十六年度以降は職員数の削減に伴う新陳代謝



東部学校給食共同調理場(東八幡)

謝等により直営に優位性が生じ、三十一年度までの間では約一億三〇〇〇万円のメリットがある。一方段階的委託の場合、二十年度から二十二年までは直営に約二億五〇〇〇万円のメリットがあるが、全面委託が完了する二十三年度から二十五年までは委託に約一三〇〇万円のメリットがある。
議員 今後、学校給食業務を民間に委託する考えはあるのか。
教育総務部長 人件費の面では直営の優位性が検証された。また委託を行う場合には職員の配置転換による異動先での余剰人員の問題、「安心・安全な給食づくり」や「食育の推進」、「災害発生時の対応」などの面で課題

があるため、当面は直営体制を継続することとした。なお今後、社会情勢の動向を見極めながら、随時検証していきたい。
従事職員の人事異動 柔軟な対応求める
議員 給食業務に従事する職員が、所属する教育委員会から本庁等の他の部署に人事異動することは難しいと聞く。このことが組織の硬直化を生み、行政改革の支障となっていると思われる。行政改革の第一歩は人事制度の改革と考えるが、見解を聞きたい。
企画部長 現在の制度では、任命権者が異なる採用区分間での人事異動には一定の制約がある。今後、新たに業務委託を推進する場合は、より柔軟な人事異動等による対応も必要と考えている。

市立幼稚園

幼児教育の推進に向け 創意工夫で特色を

議員 保護者のニーズ等の変化に伴い、私立幼稚園は保育園との共存共栄を模索している。このようなかで、市立幼稚園の役割を改めて伺いたい。
教育長 国の「幼稚園教育要領」に基づき、遊びを通して生きる力の基礎を培うことを目的としている。本市では、調和のとれた教育課程を推進することや、小学校との連携、統合保育、地域との交流を通じて保育活動の充実などにより幼児教育の推進を図っている。
議員 創意工夫によって特色のある幼稚園づくりをする必要があると考えられているが、市立幼稚園の今後の運営方針を聞きたい。
教育長 市立幼稚園の存在意義や役割を再認識し、幼稚園運営に努めていきたい。

国「幼稚園教育要領」に基づき、遊びを通して生きる力の基礎を培うことを目的としている。本市では、調和のとれた教育課程を推進することや、小学校との連携、統合保育、地域との交流を通じて保育活動の充実などにより幼児教育の推進を図っている。
議員 創意工夫によって特色のある幼稚園づくりをする必要があると考えられているが、市立幼稚園の今後の運営方針を聞きたい。
教育長 市立幼稚園の存在意義や役割を再認識し、幼稚園運営に努めていきたい。

市議会を傍聴してみませんか

次回定例会の予定

- ・ 2月21日(水) 定例会本会議(提案説明)
- ・ 3月5日(月) 定例会本会議(代表・総括質問)
- ・ 3月12日(月) 総務経済・都市建設常任委員会
- ・ 3月14日(水) 教育民生・環境厚生常任委員会
- ・ 3月23日(金) 定例会本会議 最終日



◆湘南ケーブルネットワーク(SCN)で定例会本会議の様子をテレビ放映しています。

※生中継は午前10時(予定)から2チャンネルで、録画放映は当日の午後7時(予定)から9チャンネルでご覧ください。

編集後記

明けましておめでとうございます。多くの市民の皆様にご愛読いただきありがとうございます。今年もよりよい紙面づくりに努めてまいりますのでよろしくお申し込み申し上げます。
編集委員
松本敏子 永田美典
出村 光 出縄喜文
議長 伊藤 裕
副議長 高梨孝治
☆ 事務担当は、議会事務局議事課調査担当、電話二三一一一一(内線二三六七)です。